

会場1			
開始時間	タイトル	発表者名	座長(予定)
セッション:①地域環境評価、適応策、土地利用、空間認知			
9:30	全天球画像データを平面展開して得た異なる画角の写真に対する空間的印象と注視要素	笠松樹樹(東京芸術大学)ほか	辰己賢一(名古屋市立大学)
9:45	因果ダイアグラムの作成とシミュレーションに基づく雪害適応策シナリオプランニング	小野聡(千葉商科大学)ほか	〃
10:00	茨城県那珂市農地流動化台帳にみる潜在的耕作放棄地の立地特性と台帳の意義に関する考察	鴨志田隼輔(東京大学)ほか	〃
10:15	生活環境圏におけるCO ₂ 濃度分布図の多地点比較~地域環境評価の基礎となるCO ₂ 濃度分布の相似性に着目して	プリバヌバクタ(名古屋産業大学)ほか	〃
10:30	京都市高瀬川における河岸変遷と占有形態	須田真理(名古屋市立大学)ほか	中久保豊彦(大阪大学)
10:45	酒米生産地における兼業農家と農業集落の維持—兵庫県三木市の集落を事例に—	松原茂仁(吉備国際大学)ほか	〃
セッション:②土壌・水環境・物質ストック・気象			
11:00	下水道管渠を対象とした社会資本ストックの退蔵化リスク評価	山下奈穂(名古屋大学)ほか	〃
11:15	都市構造物を対象とした世代間の同一性判定による建設資材ストック・フ	太田裕也(名古屋大学)ほか	〃
(休憩)			
開始時間	タイトル	発表者名	座長(予定)
13:00	炭素窒素安定同位体比による境川遊水地の水域におけるオオクチバスの食性解析	對馬孝治(日本大学)	長坂貞郎(日本大学)
13:15	高温経験の遷延性を考慮した高齢者の熱中症と虚血性心疾患の死亡リスクの地理的差異	大橋唯太(岡山理科大学)ほか	〃
13:30	気象シミュレーションを用いた首都圏における暑熱ストレスの将来変化	仲吉信人(東京理科大学)ほか	〃
13:45	関東および九州北部地域に立地する中山間地の土壌炭素含有率変動要因	佐々木章晴(北海道大学)ほか	對馬孝治(日本大学)
14:00	水溶性衛生製品の簡易水試験方法の提案とその妥当性に関する研究	石田康樹(日本大学)ほか	〃
14:15	軟練りコンクリートの間隙通過性評価試験方法に関する研究	笹田勝寛(日本大学)ほか	〃
14:30	鉛垂土壌汚染サイトでのサステナブルレメディエーションの適用と対策	小林剛(横浜国立大学)ほか	〃

会場2			
開始時間	タイトル	発表者名	座長(予定)
セッション:③再生可能エネルギー、地域電力、カーボンニュートラル			
9:30	FIP制度下の風力発電事業における水素製造の追加的価値に関する研究	藤平慶太(慶應義塾大学)	錦澤滋雄(東京工業大学)
9:45	福井県奥越地区における木質バイオマス発電の地域経済活性化効果	菊池武晴(福井工業大学)ほか	〃
10:00	再生可能エネルギーの地域立脚性に関する考察:事業主体と災害リスクの観点から	金再奎(滋賀県琵琶湖環境科学センター)ほか	〃
10:15	PV発電量と電力需要の予測の不確実性が地域電力需給システムに与えるソーラーシェアリングに対する住民態度に関する研究~神奈川県小田原市を事例として~	佐藤聖史(東京大学)ほか	村野昭人(東洋大学)
10:30	木質バイオマス熱電供給を用いた地域循環システムのエクセルギー解析による評価	柴田直弥(東京工業大学)ほか	〃
10:45	木質バイオマス熱電供給を用いた地域循環システムのエクセルギー解析による評価	山崎慶太(島根県立大学)ほか	〃
11:00	地域貢献型太陽光発電施設の地域受容性に関する研究	池 翔(東京工業大学)ほか	〃
(休憩)			
開始時間	タイトル	発表者名	座長(予定)
13:00	日本の2050年カーボンニュートラル達成に向けた排出削減と二酸化炭素除去—IPCC第6次評価報告書シナリオデータを用いた分析—	坂本将吾(電力中央研究所)ほか	吉田好邦(東京大学)
13:15	再生可能エネルギーに関する条例における協定の傾向と合意形成上の	長澤康弘(東京工業大学)ほか	〃
13:30	二酸化炭素回収・貯留技術(CCS)についての情報提供が中国国民の受容に与える影響	劉在強(北九州市立大学)ほか	〃
セッション:④地域おこし、人材育成、農村環境、災害復興			
13:45	洪水災害による重複被災と生活復興に向けた支援体制に関する研究—佐賀県杵島郡大町町を事例として—	坪井聖太郎(ひょうご震災記念21世紀研究機構)	松岡俊二(早稲田大学)
14:00	地方創生視点で捉えたワーケーション施設による情報発信内容の特徴と地域人材の育成に資する探究学習の授業設計と運営体制構築に向けた実証的研究	劉銘(國學院大学)ほか	〃
14:15	地域おこし協力隊の地域活動実施におけるコンフリクトとその対処:コーディネート者の役割から	新里早映(東京農工大学)ほか	〃
14:30	地域おこし協力隊の地域活動実施におけるコンフリクトとその対処:コーディネート者の役割から	安部梨杏(神戸大学)ほか	〃

会場3			
開始時間	タイトル	発表者名	座長(予定)
セッション:⑤環境学習、環境意識、野生動物管理、国立公園利用、SDGs、生態系			
9:30	気候変動による被災不安とその規定因に関する研究	松本安生(神奈川大学)ほか	朝日ちさと(東京都立大学)
9:45	理想的な暮らし(Good Life)の主要素のMax-diff分析	吉野章(京都大学)ほか	〃
10:00	市民のプラスチック削減に対する行動および行動意図に影響をおよぼす	和田有朗(滋賀県立大学)ほか	〃
10:15	インターネット利用が精神的レジリエンスに及ぼす影響の縦断分析	坂部創一(創価大学)ほか	白川 博章(名古屋大学)
10:30	消費者の農業や農作物に対する関心とCSAの加入意向に関する研究	橋本佳奈((株)日本海コンサルタント)ほか	〃
10:45	シカの捕獲地予測モデルの構築—在のみデータに対するMaxentと機械学習による比較—	阿部将貴(東京大学)ほか	佐々木 啓(和歌山大学)
11:00	国立公園に対する多様な利用志向の把握と国立公園の管理・運営に関	小堀貴子(東京大学)ほか	〃
11:15	ツシマヤマネコの交通事故対策をめぐる住民意識の把握	本田裕子(大正大学)ほか	〃
11:30	肉類消費抑制と代替肉普及のためのコミュニケーション方策の効果検証	小濱幸平(筑波大学)ほか	本田裕子(大正大学)
11:45	子育て中の市民における自然体験の伝承を実行する傾向にある集団に関する研究	吉富瑠夏(茨城大学)ほか	〃
(休憩)			
開始時間	タイトル	発表者名	座長(予定)
13:00	SDGsに関する話題の動向把握に対する新聞記事の有用性の検討	岩見麻子(熊本県立大学)ほか	藤橋亜矢子(東京女子大学)
13:15	脱炭素配慮への意識変容を目指した住民対話の場のデザインに関する実践報告—フューチャー・デザインの考えを取り入れた岩手県久慈市での	重浩一郎(岩手県)ほか	〃
13:30	大阪府内の社寺林における天然記念物の今後の指定に向けた植生評価	上田萌子(大阪公立大学)ほか	菊池佐智子(都市緑化機構)
13:45	国史跡百舌鳥古墳群における植物相と植生の特徴	粟田香名子(和歌山県農業試験場)ほか	〃
14:00	京都盆地東山山麓の集落に残存する伝統的な石積み壁に生育するギフペニダ(Dryopteris kinkiensis)の生育環境	村上健太郎(北海道教育大学函館校)ほか	〃
14:15	データ駆動アプローチによる持続可能な開発目標のネクサス構造の解析	松井孝典(大阪大学)ほか	森田香葉子(森林総合研究所)
14:30	自治体計画におけるSDGsの反映と重点目標に関する研究—全国154のSDGs未来都市計画及び15自治体への聞き取り調査結果を題材として—	増原直樹(兵庫県立大学)ほか	〃